九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

A Study on the Modernization of Korean Traditional Music in NANTA

李, 敬美
九州大学大学院芸術工学府

https://doi.org/10.15017/19759

出版情報：九州大学, 2010, 博士（芸術工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：

引用・参考文献

（あいうえお順，韓国語の参考文献は日本語読みにしている）

イ・ジョン「ノンバーバル・パフォーマンスに関する研究：韓国のノンバーバル・パフォーマンスを中心に」中央大学校芸術大学院修士論文，2007［原書名：이지연「넌버벌 퍼포먼스에 관한연구 : 한국의 넌버벌퍼포먼스 중심으로」중앙대학교 예술대학원，2007］

イ・ドゥヒョン（李杜鉉）『韓国のタルチュム』一志社:ソウル，1981，pp.35～44［原書名:이두현『韓国의탈춤』일지사:서울，1981，pp.35～44］

イム・ミヒョン「パフォーマンス(performance)としてのナンタ公演に関する研究」漢陽大学大学院修士論文,2005［原書名:임미현「퍼포먼스(performance)로서의 난타공연에 관한연구」한양대학교대학원 석사논문，2005］

イ・ソヨン（李昭ヨン）『韓国音楽の内面化されたオリエンタリズムを超えて』民俗苑：ソウル，2005［原書名: 이소영『한국음악의 내면화된 오리엔탈리즘을 넘어서』민속원:서울，2005

金義煥『朝鮮文化史新講』，東洋書院：東京，1985

キム・チョンマン(金清滿)『韓国のチャンダン』民俗苑，2002［原書名：김청만『한국의장단』민속원，2002］

キム・ドクス（金徳洙）清水由希子訳『世界を打ち鳴らせ―サムルノリ半生記』岩波書，2009

キム・ミンソン「右道農楽加楽とサムルノリ右道加楽の比較研究」ソウル大学校大学院修士論文，2007［原書名：김민선「우도농악 판굿가락과 사물놀이 우도가락의 비교연구」서울대학교대학원 석사논문，2007］

キム・ヒョンソン「ナンタの海外マーケティング事例研究」ソカン大学言論大学院 修士論文，2003［原書名：김형성「난타의 해외 마케팅 사례 연구」서강대학교 언론대학원 석사논문，2003］

キム・ホンソン『サムルノリとは何か』クィインサ：ソウル，1988［原書名：김헌선『사물놀이란 무엇인가』귀인사:서울，1988］

クォン・オソン（權五聖）『韓民族音楽論』学問社: 大邱, 1999［原書名:권오성『한민족음악론』학문사:대구, 1999］

クォン・オソン（權五聖）「国楽の大衆化の妥当性と方法論について」1992 年 4 月の対談記録［原書名:권오성「국악 대중화의 타당성과 방법론에 대하여」1992 년 4 월 대담기록］
(http://www.kcaf.or.kr/zine/artspaper92_05/19920502.htm アクセス日 2010 年 8 月 31 日)

国際劇芸術協会韓国本部『韓国の公演芸術：古代から現代まで』現代美学社:ソウル, 1999［原書名：국제극예술협회한국본부『한국의 공연예술：고대에서 현재까지』현대미학사:서울, 1999］

在外同胞財団・韓国芸術総合学校『私たちの文化を學ぼうシリズ』在外同胞財団：ソウル, 1999

シム・ウソン(沈雨晟)『タル』デウォンサ：ソウル, 1994［原書名：심우성『탈』：서울, 1994］

ジョン・インピョン(全仁評)『韓国音楽史』現代音楽出版社：ソウル, 2000［原書名:전인평『한국음악사』현대음악출판사:서울, 2000］

ジョン・ウンギ「ウッタリサムルノリ指導法研究」龍仁大学校教育大学院修士論文, 2003[原書名：정은기「웃다리사물놀이 지도 방안 연구」용인대학교 교육대학원 석사논문, 2003］

ジョン・ジヨン『近代性の侵略と 20 世紀韓国音楽』ブックコリア：ソウル, 2005［原書名:전지영『근대성의 침략과 20 세기 한국음악』북코리아:서울,2005］

ジョン・ジンス「韓国文化芸術の日本人観光客持続誘致法案：公演芸術“ナンタ”の観覧動機と満足度の観点から」『ceri エンタテインメント研究』Vol.5 韓国エンタテインメント産業研究院, 2006[原書名：정진수「한국문화예술의 일본인관광객 지속유치 방안: 공연예술‘난타’의 관람동기와 만족도 관점에서」한국엔터테인먼트산업연구원, 2006］

ジョン・ゼフン「裡里農楽のソルチャングチャンダン変化に関する研究」中央大学校大学院修士論文, 2006 ［原書名：정재훈「이리농악 설장구 장단변화에 관한 연구」중앙대학교대학원 석사논문, 2006］

ジョン・ビョンホ（鄭昞浩）『農楽』 悅話堂：京畿道, 1986［原書名：鄭昞浩］『農楽』열화당:경기도, 1986］

ソ・ハンボム（徐漢範）『国楽通論』台林出版者：ソウル，1981[原書名:서한범『국악통론』台林出版者:서울，1981]

ソン・テリョン（孫泰龍）『韓国の伝統楽器』嶺南大学校出版部，2003［原書名：손태룡『한국의 전통악기』영남대학교출판부，2003]

ソン・バンソン（宋芳松）『韓国音楽通史』一潮閣:ソウル，1984

ソン・バンソン（宋芳松）『朝鮮後期の郷妓と宮中呈才』檀国大学校東洋学研究所，第25回東洋学学術大会，1995［原書名：宋芳松『朝鮮後期의郷妓와宮中呈才』단국대학교동양학연구회，제25회동양학학술대회，1995]

ソン・スンファン（宋承桓）『世界を乱打した男文化CEO宋承桓』ブキアン：ソウル，2003［原書名：송승환 『세계를 난타한 남자 문화 CEO송승환』북키앙：서울，2003]

地球の歩き方編集室『地球の歩き方韓国’08～’09』ダイヤモンド・ビッグ社: 東京，2008

チェ・ヒウァン『タルチュム』デウォンサ：ソウル，1992［原書名：채희완『탈춤』：서울，1992]

チェ・サンス（崔常壽）『韓国仮面の研究』成門閣：ソウル，1984［原書名：최상수『韓国仮面의研究』성문각：서울，1984]

チャン・サフン（張師勛）『最新国楽総論』 世光音楽出版社：京畿道，1985

チャン・サフン（張師勛）『韓国音楽史』世光音楽出版社：京畿道，1986

チャン・サフン（張師勛）『芸術と学問の出会い』世光音楽出版社：京畿道，1987［原書名：장사훈『芸術과学問의만남』世光音楽出版社：京畿道，1987]

チャン・サフン（張師勛）『黎明の東西音楽』寶晋齋：ソウル，1974［原書名：張師勛『黎明의東西音楽』보진재:서울，1974]

趙 完済『韓国伝統文化事典』教育出版：東京，2006

中村滋延「コンピュータ音楽考察」『現代音楽×メディアアート』九州大学出版会：福岡，2008

ナンタのホームページ http://nanta.i-pmc.co.kr（アクセス日：2010年10月1日）

日本地理大系 第12巻(朝鮮篇)， 改造社(旧外地関係資料目録)， 1929

ノ・ソンイン「ナンタを活用した活動中心の音楽授業の指導研究」檀国大学校教育大学院 修士論文，2004［原書名：노성인「난타를 활용한 활동중심의 음악수업 지도연구」단국대학교 교육대학원 석사논문，2004]

ハンクックジョントンイェスルボジョンフォィ（韓国伝統芸術研究保存会）『サムルノリ②三道ソルチャンゴカラク:演奏編』サムボ出版社，1993［原書名：한국전통예술연구보존회『사물놀이 2:삼도설장고가락:연주편』1993，삼호출판사］

ハン・ミョンヒ（韓明熙）『ウリ音楽 100 年』玄岩社：ソウル，2005［原書名:한명희『우리음악 100 년』현암사:서울，2005

ビョン・ミヘ（卞美惠）『国楽用語編修資料集』民俗苑：ソウル，2004［原書名:변미혜『국악용어편수자료집』민속원:서울，2004

ボク・ソンス「カンルン農楽と大田ウッタリ農楽の比較分析に関する研究」，牧園大学校産業大学院修士論文，2007［原書名：복성수「강릉농악과 대전 웃다리농악의 비교분석에 관한 연구」，목원대학교 산업대학원 석사논문，2007］

ボンチョンノリマダン『民俗教育資料集』 ウリ教育：ソウル，1994［原書名：봉천놀이마당『민속교육자료집』우리교육:서울，1994］

ユン・ジュンカン（尹重剛）「創作をための苗代として伝統を認識する若者の音楽」『文化芸術誌』，1999［原書名：윤중강「창작을 위한 못자리로서의 전통을 인식하는 젊은이의 음악」『문화예술지』，1999］
(http://www.kcaf.or.kr/zine/artspaper99_01/13.htm アクセス日 2010 年 8 月 31 日)

リュ・インサン「サムルノリのクッコリチャンダン分析：ジョン・ストクのチャング演奏を中心に」龍仁大学校芸術大学院修士論文，2003［原書名：류인상「사물놀이의 굿거리 장단분석:전수덕의 장구 연주를 중심으로」，용인대학교 예술대학원 석사논문，2003

図表出典

第 1 部

図 1-1　京郷新聞　1977 年 5 月 2 日

図 1-2　東亜日報　1965 年 1 月 14 日

図 1-3　国立国楽院提供

図 1-4　ハン・ミョンヒ（韓明熙）『ウリ国楽 100 年』玄岩社，2005，pp. 110

図 1-5　ハン・ミョンヒ（韓明熙）『ウリ国楽 100 年』玄岩社，2005，pp. 116

図 1-6　ハン・ミョンヒ（韓明熙）『ウリ国楽 100 年』玄岩社，2005，pp. 116

図 1-7　山本三生他編『日本地理大系 第 12 巻(朝鮮篇)』 改造社(旧外地関係資料目録）1929，pp. 371

図 1-8　京郷新聞　1968 年 7 月 10 日

図 1-9　東亜日報　1961 年 7 月 30 日

図 1-10　東亜日報　1994 年 10 月 13 日

図 1-11　京郷新聞　1962 年 1 月 22 日

図 1-12　京郷新聞　1962 年 1 月 22 日

図 1-13　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2010 年

図 1-14　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2010 年

図 1-15　東亜日報　1961 年 12 月 16 日

図 1-16　京郷新聞　1973 年 10 月 13 日

図 1-17　東亜日報　1986 年 6 月 20 日

図 1-18　毎日経済　1982 年 2 月 19 日

図 1-19　京郷新聞　1978 年 6 月 28 日

図 1-20　京郷新聞　1978 年 4 月 18 日

図 1-21　京郷新聞　1993 年 3 月 25 日

図 1-22　東亜日報　1985 年 11 月 6 日

図 1-23　京郷新聞　1987 年 10 月 3 日

図 1-24　京郷新聞　1988 年 9 月 22 日

図 1-25　ハン・ミョンヒ（韓明熙）『ウリ国楽 100 年』玄岩社，2005，pp. 124

図 1-26　東亜日報 1985 年 9 月 6 日
図 1-27　東亜日報 1985 年 10 月 2 日
図 1-28　京郷新聞　1985 年 11 月 11 日
図 1-29　ソン・バンソン（宋芳松）『韓国音楽通史』一潮閣，1984
図 1-30　ハン・ミョンヒ（韓明熙）『ウリ国楽 100 年』玄岩社，2005，pp.165
図 1-31　1965 年 1 月 18 日　京郷新聞
図 1-32　東亜日報　1962 年 2 月 18 日
図 1-33　ジョン・ジヨン『近代性の侵略と 20 世紀韓国の音楽 』ブックコリア，2005，pp.203
図 1-34　ジョン・ジヨン『近代性の侵略と 20 世紀韓国の音楽 』ブックコリア，2005，pp.201
図 1-35　ソ・ハンボム（徐漢範）『国楽通論』台林出版者，1981，pp.296
図 1-36　ファン・ビョンキ公式ホームページ(http://www.bkhwang.com/)
図 1-37　東亜日報　1965 年 2 月 27 日
図 1-38　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2010 年 8 月 15 日
図 1-39　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2010 年 8 月 15 日
図 1-40　京郷新聞 1981 年 10 月 25 日
図 1-41　ハン・ミョンヒ（韓明熙）『ウリ国楽 100 年』玄岩社，2005，pp.273
図 1-42　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2008 年 6 月 25 日
図 1-43　京郷新聞　1981 年 2 月 5 日
図 1-44　京郷新聞　1999 年 12 月 17 日
図 1-45　東亜日報　1994 年 5 月 26 日
図 1-46　ハン・ミョンヒ（韓明熙）『ウリ国楽 100 年』玄岩社，2005，pp.275
図 1-47　ハン・ミョンヒ（韓明熙）『ウリ国楽 100 年』玄岩社，2005，pp.275
図 1-48　コンミョン公式ホームページ（http://www.gongmyoung.co.kr/アクセス日 2010 年 8 月 31 日）
図 1-49　コンミョン公式ホームページ（http://www.gongmyoung.co.kr/アクセス日 2010 年 8 月 31 日）
図 1-50　コンミョン公式ホームページ（http://www.gongmyoung.co.kr/アクセス日 2010 年 8 月 31 日）

図 1-51 地球の歩き方編集室『地球の歩き方韓国'08～'09』ダイヤモンド・ビッグ社，2008，p146)
図 1-52 毎日経済 1982 年 3 月 2 日
図 1-53 DoodRock 公式ホームページ
(http://www.doodrock.co.kr/ アクセス日 2010 年 8 月 31 日)
図 1-54 DoodRock 公式ホームページ
(http://www.doodrock.co.kr/ アクセス日 2010 年 8 月 31 日)
図 1-55 DoodRock 公式ホームページ
(http://www.doodrock.co.kr/ アクセス日 2010 年 8 月 31 日)
図 1-57 世界文化芸術教育大会公式ホームページ
(http://www.artsedu2010.kr/ アクセス日 2010 年 9 月 1 日)

第 2 部

図 3-1 イ・キョンミ（李敬美）撮影 2010 年 8 月
図 3-2 イ・キョンミ（李敬美）撮影 2010 年 8 月
図 3-3 イ・キョンミ（李敬美）撮影
図 3-4 イ・キョンミ（李敬美）作成
図 3-5 ジョン・ビョンホ（鄭昞浩）『農楽』 悦話堂，1986，pp.221
図 3-6 ジョン・ビョンホ（鄭昞浩）『農楽』 悦話堂，1986，pp.128
図 3-7 ジョン・ビョンホ（鄭昞浩）『農楽』 悦話堂，1986，pp.193
図 3-8 ジョン・ビョンホ（鄭昞浩）『農楽』 悦話堂，1986，pp.221
図 3-9 ジョン・ビョンホ（鄭昞浩）『農楽』 悦話堂，1986，pp.211
図 3-10 ジョン・ビョンホ（鄭昞浩）『農楽』 悦話堂，1986，pp.25
図 3-11 ジョン・ビョンホ（鄭昞浩）『農楽』 悦話堂，1986，pp.153
図 3-12 ジョン・ビョンホ（鄭昞浩）『農楽』 悦話堂，1986，pp.165
図 3-13 イ・キョンミ（李敬美）撮影 2008 年 1 月
図 3-14 イ・キョンミ（李敬美）撮影 2010 年 8 月
図 3-15 ジョン・ビョンホ（鄭昞浩）『農楽』 悦話堂，1986，pp.119
図 3-16 ジョン・ビョンホ（鄭昞浩）『農楽』 悦話堂，1986，pp.229
図 3-17 ジョン・ビョンホ（鄭昞浩）『農楽』 悦話堂，1986，pp.110
図 3-18 ジョン・ビョンホ（鄭昞浩）『農楽』 悦話堂，1986，pp.114
図 3-19 イ・キョンミ（李敬美）撮影 2010 年 8 月 15 日

図 3-20　オンラインビデオからキャプチャ：アクセス日 2010 年 8 月 31 日
http://www.unesco.org/culture/ich/index.php?RL=00184
図 3-21　李敬美撮影 2007 年 1 月
図 3-22　オンラインビデオからキャプチャ：アクセス日 2010 年 8 月 31 日
http://www.unesco.org/culture/ich/index.php?RL=00184
図 3-23　オンラインビデオからキャプチャ：アクセス日 2010 年 8 月 31 日
http://www.unesco.org/culture/ich/index.php?RL=00184
図 3-24　毎日経済　1982 年 8 月 14 年
図 3-25　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2010 年 8 月
図 3-26　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2010 年 8 月
図 3-27　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2010 年 8 月
図 3-28　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2010 年 8 月
図 3-29　イ・キョンミ（李敬美）作成
図 3-30　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2010 年 8 月
図 3-31　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2010 年 8 月
図 3-32　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2010 年 8 月
図 3-33　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2010 年 8 月
図 3-34　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2010 年 8 月
図 3-35　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2010 年 8 月
図 3-36　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2010 年 5 月
図 3-37　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2010 年 5 月
図 4-1　チェヒウァン『タルチュム』デウォンサ，1992，pp.36～37
図 4-2　イ・キョンミ（李敬美）作成
図 4-3　京郷新聞 1997 年 11 月 14 日
図 4-4　東亜日報 1999 年 12 月 2 日
図 4-5　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2007 年 11 月
図 4-6　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2007 年 11 月
図 4-7　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2007 年 1 月
図 4-8　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2007 年 11 月
図 5-1　イ・キョンミ（李敬美）作成
図 5-2　イ・キョンミ（李敬美）作成
図 5-3　イ・キョンミ（李敬美）作成

図 5-4　イ・キョンミ（李敬美）作成
図 5-5　イ・キョンミ（李敬美）作成
図 5-6　イ・キョンミ（李敬美）作成
図 5-7　イ・キョンミ（李敬美）作成
図 5-8　イ・キョンミ（李敬美）作成
図 5-9　イ・キョンミ（李敬美）作成
図 5-10　イ・キョンミ（李敬美）作成
図 5-11　イ・キョンミ（李敬美）作成
図 5-12　イ・キョンミ（李敬美）作成
図 5-13　イ・キョンミ（李敬美）作成
図 5-14　イ・キョンミ（李敬美）作成
図 5-15　イ・キョンミ（李敬美）作成
図 6-1　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2007 年 11 月
図 6-2　オンラインビデオからキャプチャ：アクセス日 2010 年 8 月 31 日
http://www.unesco.org/culture/ich/index.php?RL=00184
図 6-3　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2007 年 11 月
図 6-4　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2005 年
図 6-5　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2007 年 11 月
図 6-6　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2010 年 8 月
図 6-7　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2010 年 8 月
図 6-8　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2007 年 11 月
図 6-9　イ・キョンミ（李敬美）撮影 2007 年 11 月
図 6-10 イ・キョンミ（李敬美）撮影 2007 年 11 月
図 6-11 イ・キョンミ（李敬美）撮影 2007 年 11 月
図 6-12 イ・キョンミ（李敬美）撮影 2007 年 11 月